

添田町情報化推進勉強会
平成24年度活動報告

平成25年6月

添田町情報化推進勉強会

平成24年度活動結果

(2) 活動報告

① 添田町情報化推進勉強会発足（平成24年6月29日（金））

添田町情報化推進勉強会を発足しました。

勉強会発足式には17団体（参画団体は18団体）、40名が参加

（町内より、商工会、地元企業の方々が参加。）

1. 勉強会目的、全体事業スケジュール説明

2. 勉強会内容協議

（1）調査活動

① 町内の様々な関係者との意見交換会（タウンミーティング）

② 住民アンケート

（2）普及啓発活動

① インターネット教室

② 啓発シンポジウム・セミナー等

（3）情報発信活動

ICTを活用した添田町の様々な地域資源に関する情報発信活動

（4）上記活動を進めていく中でこれからの添田町における情報化推進体制の在り方、方向性等を検討します。



【勉強会の様子】



【寺西町長挨拶】



【町民からの発言】

【添田町情報化推進勉強会学生サポーターチーム結成】

九州工業大学情報工学部学生20名でサポーターチームを結成し、今後の勉強会活動を、若者の柔軟な発想力と行動力で支援していく体制を構築していただきました。



【九州工業大学生サポーター】

② インターネット教室の開催（平成24年8～9月）

タブレット端末によるインターネット体験中心の教室と、受講者レベルに応じた2種類の初心者向けインターネット教室を計画し、8月上旬から9月中旬にかけて実施しました。

【タブレット端末を使った体験教室】

8月7日（火）～9日（木）、8月21日（火）～8月23日（木）で町内の公民館等10箇所で開催しました。

実施場所：英彦山公民館、野田公民館、津野公民館、オークホール、
真木小学校、英彦山地区総合センター、添田小学校、町民会館
榊田公民館、中元寺公民館



【タブレット端末体験教室の様子】

【インターネット初心者教室】

受講者レベルに応じた2種類のインターネット初心者教室を、8月29日（水）～30日（木）、9月5日（水）～9月6日（木）、9月12日（水）～9月13日（木）の計6回開催しました。教室参加者に対して、別途アンケートを実施しました。

実施場所：町民会館



【インターネット初心者教室の様子】

※教室全体参加者人数（全16回）：143名（延人数）

※参加者に対して、簡単なアンケート調査も実施しました。結果概要は次の通りです。（詳細は参考資料1を参照）

＜アンケート分析結果概要＞

- 全体で約8割の方がインターネット加入者であるが、“ほとんど利用していない”、“まったく利用していない”の回答が約5割を占めました。
- 利用していない理由としては、操作方法、ソフトの更新方法、セキュリティ対策がわからないというものが多く見受けられました。
- インターネットサービスに加入していない人の理由の約3割が、“操作が難しそう”という理由でした。
- インターネットサービスに加入していない人のうち、約4割の人が“加入したい”、また約2割の人が“教えてくれる人がいれば加入したい”という回答結果でした。

③ タウンミーティング

【第一回】 8月9日（木）13：00～14：00

添田町役場子育てネット関連部門の方々と意見交換を行いました。

＜＜主な意見＞＞

- 子育てネットシステム、平成19年度より導入実施している。
＜加入率＞ 小学生：70.8%
中学生：29.6%
幼稚園：19.5%
保育園：89.7%
- 情報の主な項目は、健康情報（予防接種、身体測定データ、アレルギー等）で個人データ管理となっており、登録者が自己で情報開示している。あとは学校行事、くらしだより、掲示板、不審者情報等。とくに掲示板は利用が少ない。
- 操作研修については、年6回のワーキング会議で実施している。
- 病院との連携（医療関係との連携）がほとんどない。
- 閲覧はパソコンより携帯電話のほうが多い。

【第二回】 8月22日（水）11：00～12：00

添田町商工会、青年部、婦人部の方々と意見交換を行いました。

＜＜主な意見＞＞

- 商工会のホームページ制作等は詳しい知人等に依頼している。
- java 等の更新方法を知らなかったりしてホームページの更新ができないままの状態となっている。
- インターネットは一般家電感覚で使えるもの、ということを知ってもらえない。

- ・インターネットへの興味のある人と無い人の温度差（意識の違い。）
- ・パソコン等の勉強会は実施しているがその後のフォローや近くに教えてくれる人がいないため、興味のある人も離れていく。
- ・観光場所はあるのだが、町自体にとどまるところが少ない。
- ・情報発信力がない。自己満足で終わっている。
- ・町自体の教育体制でリーダーとなる人物がいない。

【第三回】 8月23日（木）11：00～12：00

添田町役場地域防災係、議会事務局、企画推進係の方々と意見交換を行いました。

＜＜主な意見＞＞

- ・防災システムで無線、有線（光）で検討中である。
- ・防災GISシステムで操作が簡易なものが無い。
- ・議会中継システムの生中継化を検討している。（役場内3階ロービーにて生中継はあるが、役場まで来ないと見られない。通常の閲覧は録画中継である。
- ・インターネットを使用した地域ブランド商品販売を今年度計画中である。
- ・災害緊急放送方法は現在、広報車にて実施している。
- ・避難誘導方法の具体的なしくみを検討中である。
- ・監視カメラは設置しているが、夜は確認できない。
- ・GISも各課バラバラである為、早急にネットワーク整備を実施し統合したいがネットワーク整備自体が難しい。
- ・SNSをうまく活用し、情報発信力を強めたい。（発信よりも情報収集から）

【第四回】 8月23日（木）13：00～14：00

添田町役場商工観光係、地域ブランド係、有害鳥獣対策係、観光施設管理係の方々と意見交換を行いました。

＜＜主な意見＞＞

- ・観光施設のホームページは別管理である。
- ・観光ナビ等はボランティア団体に協力してもらっている。
- ・有害鳥獣を再利用した加工食品の安定供給の事業化が難しい。
- ・添田町のホームページは英彦山の情報は多いが、添田町自体の情報が少ない。
- ・ブログ等のターゲット（閲覧者）が絞れていない。
- ・全員が情報発信できる仕組みがない。

【第五回】 8月23日（木）14：00～15：00

添田町役場学校教育係、水道課管理係、総務係の方々と意見交換を行いました。

＜＜主な意見＞＞

- 添田町の文化遺産、史跡等の情報発信力が弱い。
- 学校のパソコン更改時期であるがちいさな学校である為、シンクライアント等思案中である。
- 学校職員室にネットワーク環境がなく、メールのやりとりは学校内のパソコン教室で行っている。
- シニア向けのパソコン教室はあるが、学校職員向けの教室がない。
- 防犯対策は保護者会や自治体等でのパトロール、及び子育てネットでの不審者情報。

【第六回】 8月23日（木）15：00～16：00

添田町役場戸籍住民係、保険年金係、税務係の方々と意見交換を行いました。

＜＜主な意見＞＞

- 制度変更があるたびにすぐにシステムが変わる為、操作面で苦労している。
- 新任研修がない。基本は前任者からの引継ぎである。
- 窓口のQ&Aシステムや、マニュアルが少ない。
- 添田町のホームページからの申請書等のダウンロードはできるが、申請自体が紙ベースである為、役場窓口に行かないと申請できない。

【第七回】 9月6日（木）13：00～15：00

長崎総合科学大学、横山教授を座長とし、添田町の行政区長会の方々と意見交換を行いました。

＜＜主な意見＞＞

- 高齢化による町全体の孤立化（若い人だけでなくお年寄りも付き合い方が難しくなっている。）
- インターネットに対しても最初から拒否反応をおこす。まず、言葉の意味からしてわからない。ICTとは？
- お年寄りの中には、添田町のホームページすら知らない人が多い。
- 添田町のホームページは知りたい情報が少ない。（内容の深い情報がない。）
- 高齢者の安否情報を発信する手段で良い方法がわからない。
- 避難勧告の連絡等、迅速に情報がほしい。
- インターネット教室等でパソコンの使い方から教えてほしい。
- パソコン操作でキーボード操作は問題ないのだが、インターネット自体の機能の使い方がわからない。

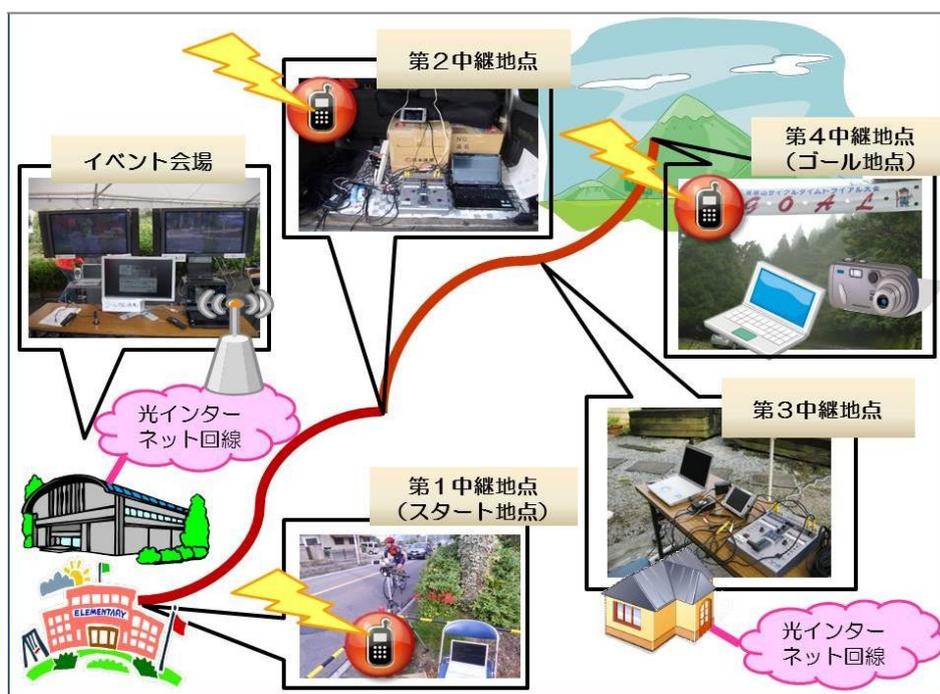
- 個人情報保護等で昔より情報周知が難しくなってきた。
- 若い人に何かを残せる町づくりをめざしたいが、具体的な案がない。



【意見交換会の様子】

④ 英彦山サイクルタイムトライアル大会初のインターネット中継実験 (平成24年9月23日)

第22回英彦山サイクルタイムトライアル大会」の初のインターネットライブ中継を実験的に試みました。並行して開催された「ご当地グルメ in そえだ ~食べてみり添田~」のイベント会場（開会式、表彰式会場）では別途光インターネット及び Wi-Fi 環境を整備し、中継画像を大型モニターに表示させることで、選手の家族・同行者、観戦者、観光者等に対し、本ライブ中継を楽しんでいただきました。具体的には、全長 15.1 km（スタート地点とゴール地点の標高差約 800m）の競技コース上に4箇所の中継地点を設け、ビデオカメラ、ノートPC、モバイルルーター等の機器構成で Ustream 配信を実施しました。なお、ゴール地点は電波状態が悪いため、デジタルカメラの静止画配信という手法を採りました。



【インターネットライブ中継全体イメージ図】



【インターネットライブ中継実験の様子】

※インターネットライブ中継配信URL（現在は録画映像をご覧ください。）

<http://www.kiai.gr.jp/soeda/timetrial2012.html>

⑤添田町ソーシャルメディアビジネス活用セミナー開催

（平成24年10月29日（月） 19：00～21：00

ソーシャルメディアを利用している添田町住民の方々に対しソーシャルメディアのより効果的な活用方法などを習得して頂くことを目的としセミナーを開催しました。



【ソーシャルメディアビジネス活用セミナー模様】

⑥九州 ICT オープンスクール in 添田の開催

（平成24年12月3日（月）～4日（火））

九州内のICT研究者（学生）による中山間地域における様々な課題解決に向けたグループ討議を実施しました。

添田町における現状の地域課題について、添田町役場、添田町商工会、地域住民を交えて意見交換を行い、学生はグループ討議でICTを利活用した課題解決について検討し、最終日にはその解決策について、発表を行ないました。

【参加大学】

九州大学、九州工業大学、九州産業大学、佐賀大学、長崎総合科学大学、大分大学、宮崎公立大学、鹿児島大学（全8大学、参加学生15名）

*全体で4グループに分かれ、各々与えられた課題に対し、町関係者の方々の意見交換等を進めながら検討を進めていきました。

【検討課題】

- ① 非常災害時等における防災（システム、体制）
- ② 少子高齢化対策（高齢者見守り、若者定住促進等）
- ③ 地域ブランド（特産品開発、観光振興等）
- ④ 地域の情報発信（SNS 利活用等）

【検討結果】

Aグループ：「非常災害時における防災」

山間部において、アクセスポイント機能を有した車両を介して、災害時でも安定した通信を提供できるシステムを提案

＜提案システム名＞

C A P : Car Access Point



Bグループ：「高齢者に元気になるためのシステムの開発」

添田町の高齢者の高齢者による高齢者のための対策として高齢者がその知識や技術で活動できるサークル設立を提案

＜提案サークル名＞

P O P S : Powerful Old People Soeda



Cグループ：「添田町への観光客誘致増大に向けたアプリケーションの開発」

添田町のことを知ってもらい、かつ実際に観光に来た際に役に立つアプリケーション開発を提案

＜提案アプリケーション名＞

そうだ、添田に行こう



Dグループ：「SNSを活用した新たな地域情報発信の仕組みについて」

公開されているSNSのテンプレートを基に、低コストで開発できるSNSを提案

＜提案SNS名＞

「ここだそえだ！」





【九州 ICT オープンスクール in 添田 開催模様】

⑦九州地域情報化シンポジウム in 添田の開催

(平成1月24日(木) ~ 25日(金))

徳島県神山町、香川県高松市よりそれぞれ講師を招いて2つの講演を実施、添田町立落合小学校と鹿児島県肝付町立内之浦小学校間で光ネットワークを使った遠隔交流授業の映像中継配信ならびに、各展示出展参加 ICT 企業による最新サービスのプレゼンテーションを実施しました。2日目の24日には、町民向けインターネット体験教室ならびにインターネット相談窓口を実施しました。

《第1部》 1月24日(木) 13:30~17:00

◇開会挨拶

・添田町長 寺西 明男 氏

・添田町情報化推進勉強会座長(長崎総合科学大学教授) 横山 正人 氏

◇基調講演1:「地域づくり「神山モデル」~企業誘致から人財誘致へ~」

NPO 法人グリーンバレー 理事長 大南 信也 氏

◇光インターネットを活用したデモンストレーション(遠隔交流授業)

添田町立落合小学校 ~ 鹿児島県肝付町立内之浦小学校

◇基調講演2:「ICT 就労で元気なママさんや障がい者などテレワーカーが地元企業をお手伝い ~就労弱者の経済的自立と社会参加を目指して~」

NPO 法人マイシアター高松 古市 努 氏

◇情報通信技術を活用した最新サービスの紹介

(株) BCC、マスプロ電工(株)、KDDI(株)、富士通(株)、

(株) KIS、(株) デンソー

(順不同)



【九州地域情報化シンポジウム in 添田（第1部） 開催模様】

《第2部》 1月24日（木）18：00～20：00

◇ディナーミーティング

《第3部》 1月25日（金）9：30～10：30

◇インターネット体験教室

◇インターネット利用相談窓口



【九州地域情報化シンポジウム in 添田（第3部） 開催模様】

⑧住民アンケート調査

上記のような活動と併せて、住民の方々の情報化に関する様々なニーズ等を掌握していくため、添田町民1,830人の方をサンプリングし、町役場を通じ、以下のようなアンケート調査を実施しました。結果、全体で741件（回収率：40.5%）の回答を得ました。（調査票は参考資料2を参照）

【アンケート概要】

下記の7項目に基づく調査を行いました。

- 基本的事項（6質問）
「年齢区分、性別、職業、居住地区など」
- 暮らしに関する事項（7質問）
「住むきっかけ、買い物、通院などの暮らしに関する事項など」
- 情報の入手に関する事項（2質問）
「世間一般の情報と添田町内の情報の入手方法」

- ・情報環境に関する事項（9質問）
「携帯電話、パソコンの所有や利用方法など」
- ・インターネットの利用に関する事項（9質問）
「インターネットの利用実態、利用料金に関する事項など」
- ・敷設された光ファイバーに関する事項（2質問）
「理解度や申込み状況など」
- ・添田町の将来に関する事項（2質問）
「利用したい住民サービス、町として推進すべき事項」

【集計結果概要】（調査結果詳細は参考資料3を参照）

PC保有率は、全体として61.8%（非保有34.7% 無回答3.5%）であり、総務省の平成23年通信利用動向調査（世帯編）値である77.4%を下回ってはいますが、過去に実施してきたその他中山間地域（平均して40%台）と比較すると、比較的の高い数値結果となりました。

また、携帯電話（スマートフォン含）保有率は、88.7%（非保有10.3%、無回答1%）であり、総務省調査値である94.5%を下回ってはいますが、これも過去に実施してきたその他中山間地域（平均して70%台）と比較すると、比較的の高い数値結果となります。

PC、携帯電話の非保有者に対して「今後手に入れてみたい情報通信機器」に関する質問結果を分析したところ、PC非保有者に関しては16.4%の方が、今後PCを購入してみたいと回答しており、スマートフォン等を含めたその他情報通信機器も含めると、PC非保有者の49.6%の人が何らかの情報通信機器の購入をしてみたいと考えていることが判明しました。

一方、携帯電話非保有者の57.3%の人が何らかの情報通信機器の購入をしてみたいと考えおり、携帯電話だけに限れば10.7%の人が携帯電話を購入したいと考えていることが判明しました。

自宅でのインターネット利用率に関しては、アンケート回答上、43.5%という数値となり、九州全体でのブロードバンド普及率54.0%、福岡県内の普及率65.0%（総務省九州総合通信局発表平成24年3月末値）を下回る結果となりました。

また、PC保有者のうち、インターネットに接続している方は、68.7%であり、PC保有者の約3割の人は、インターネット未接続状態でのPC利用にとどまっています。

現在、自宅でインターネット利用していない方で、今後のインターネット利用に関する質問に回答を頂いた総数のうち、「利用したい」と回答した方は16.7%、「教えてくれる人、機会があれば利用してみたい」は12.

7%、「利用したいが迷っている」は13.3%という値となり、これらを合わせると、インターネット未利用者のうち、約4割の方が潜在的利用者と考えられることもできます。

今後、どのような地域サービスを受けたいか、という質問に対しては、回答数の多かったものから、「迅速な災害情報、避難情報の提供」「独居老人の見守り」「急病等の際、自宅で応急措置情報を得られる」「自宅で診断、健康管理指導を受けられる」等といったようなものとなりました。これらのサービスの実現には、町民の方々が何らかの情報通信環境を手に入れる必要があり、こういった観点からも、インターネット利活用の普及促進に向けた解決策のヒントが得られるのかもしれませんが。

年 齢	P C	携帯電話
19歳以下	87.5%	87.5%
20～29歳	79.2%	97.9%
30～39歳	72.2%	94.9%
40～49歳	76.7%	96.5%
50～59歳	68.1%	91.0%
60～64歳	63.1%	97.2%
65歳以上	43.3%	75.3%
年齢無回答	75.0%	75.0%
全 体	61.8%	88.7%

【PC、携帯電話保有率】

年 齢	インターネット利用率
19歳以下	100.0%
20～29歳	86.5%
30～39歳	86.0%
40～49歳	80.3%
50～59歳	72.2%
60～64歳	54.5%
65歳以上	51.0%
年齢無回答	100.0%
全 体	68.7%

【PC保有者のインターネット利用率】

年 齢	利用したい	教えてくれる人、機会があれば利用したい	利用したいが迷っている	利用したくない	わからない
19歳以下	0.3%	0%	0%	0%	0%
20～29歳	0.3%	0%	1.2%	0.9%	0.6%
30～39歳	1.8%	0.3%	2.4%	1.5%	1.5%
40～49歳	1.2%	1.5%	1.2%	2.1%	1.5%
50～59歳	4.2%	1.5%	2.1%	4.2%	5.8%
60～64歳	3.3%	4.2%	3.3%	9.1%	4.2%
65歳以上	5.5%	5.2%	3.0%	18.5%	7.0%
年齢無回答	0%	0%	0%	0.3%	0%
全 体	16.7%	12.7%	13.3%	36.7%	20.6%

【(インターネット未利用者の) 今後のインターネット利用意識に関する調査】

(3) 平成24年度活動総括

平成24年度より新たに活動を展開した地域である添田町では、勉強会発足後、まずは本勉強会活動を地域の方々に幅広く認知していただくことも踏まえ、町内10ヶ所の公民館で開催するインターネット体験教室から事業をスタートさせたところです。なお、本教室開催に際しては、教室応募日のうちにすぐに定員に達してしまい、その後追加応募が生じる等、地域住民の方々の潜在的なインターネット関心の高さを知ることができたことも大きな収穫でした。また、商工会の青年部、婦人部といった、地元の若手・中堅の方々と行った意見交換では、町全体としての情報発信をいかに効果的に行っていく必要があるか等、地域情報の発信に対して、大変前向きなスタンスである点も理解できました。

しかしながら、町全体としては、個々人、あるいは個々の団体がソーシャルメディア等を活用した情報発信をそれぞれで行っているような状況で、添田町としての全体的な情報発信の取り組みに関しては、まだ十分にはなされていない状況にあると思われます。

そういった中、勉強会としては、添田町における例年の町おこし行事である「英彦山サイクルタイムトライアル大会」の初のインターネットライブ中継実験や「ソーシャルメディアビジネス活用セミナー」を実施し、できる限り地域を巻き込んだうえで、情報発信に対する関心を高めていく事業を進めていきました。

添田町での活動はスタートしたばかりですが、これまでの活動を通じ、添田町を代表する観光資源である英彦山や、町に散在する様々な歴史文化財等といった貴重な地域資源を有効に活用した添田町ならではの情報発信を地域一体となって取り組めるような仕組みづくりの必要性を強く感じたところです。

現在、実施中である住民アンケート結果も有効に分析しつつ、町内関係者と共に、平成25年度以降の具体的な事業を計画していきたく考えています。